ボーリング柱状図

調査名	一般国道375号(引宇根工区)道路改良事業に伴う測量・地質調査・解析等業務(交付金)
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	2	3	2	1	6	6	3	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	BP-3H	調査位置	広島県三次市日下町地先			北緯	34° 48' 19.7680"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	平成28年 7月 7日～平成28年 7月22日			東経	132° 47' 20.6310"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	163.95m	角度	180° 上 90° 下 0° 90°	方向	339°北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	23° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	49.00m	試錐機	東邦地下工機D-1型	ハンマー落下用具		エンジン	ヤンマーディゼルNFD-13	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数/貫入量 回/cm	原位置試験	室内試験
1	163.95	1.30		玉石混り粘性土	暗褐						表土と考えられる。腐植質で植物片が混じる。粘性は低い。玉石はφ75 ～100mm位、所々に点在する。						
2	163.95	9.10		玉石混り砂礫	暗褐						崖錐堆積物と考えられる。玉石はφ75～400mm位。玉石は多く混じっており、玉石主体となる区間もある。碑種は、安山岩および流紋岩。マトリックスは中～粗砂。						
9	163.95	9.80		流紋岩質溶結凝灰岩	暗青灰	B	Ⅲ	b	γ	1	全体的に硬質。亀裂多く、コアは短柱～柱状を呈する。亀裂は水平方向と40～60° 位。GL-9.8～10.8m付近は亀裂部に褐色の狭在物が40～60° の角度で貫入する。軟質化しており、砂礫状。	CM					
10	163.95	10.80				C		c				CL					
11	163.95	13.40				B		b	β			CM					
14	163.95	14.50				C	Ⅳ	c	γ		GL-13.4～14.5m付近亀裂部に硅質の脈岩が40～60° の角度で貫入する。所々に砂礫状を呈する。	CL					
15	163.95	15.60					Ⅲ	b									
16	163.95	16.70					Ⅳ	c			GL-15.8～16.7m付近は亀裂が多く、岩片化している。						
19	163.95	19.70				B	Ⅲ	b	β			CM					
20	163.95	20.30				C	Ⅳ	c	γ		GL-19.7～22.0m付近は縦方向と水平方向の亀裂多く、短柱～岩片化している。GL-21.0～21.3m付近は褐色の狭在物が挟まる。	CL					
21	163.95	21.00				B	Ⅲ	b	β			CM					
22	163.95	22.00					Ⅱ～Ⅲ					CL					
23											GL-22.0～24.6m付近は亀裂が少なくなりコア柱状となる。コアは硬質。	CH					

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
7/7	140		S/MC	0.5	60	0.0	無水/0	0
	143							
7/8	106		HW/DI	200.0～400.0	120～180	0.0	泥水/10	10
	76							
	84			200.0～400.0	180	0.0	泥水/10	0～2
	88							
	112							
7/9	96							
	78							
	208		S/MC	200.0～400.0	60	0.0	無水/0	0
	123		HW/DI					
	104			300.0	180	0.0	泥水/10	0～2
7/11	79							
	108			400.0	200	0.5	泥水/15	0～10
	97							
	145							
7/12								
	134			400.0	180	0.0	泥水/10	0～5
	67							
	65			400.0～600.0	200	0.5	泥水/10	10
	65					0.5～1.0	泥水/10	10
	90							
7/14								
	114					0.0	清水/15	15
	99							

24						B	II～III		β		潜在亀裂はほとんどない。	42[82](100)	CH																					
	163.95	24.60										27[63](100)																						
25	163.95	25.30				C	IV		γ		GL-24.6～25.3m付近は、縦方向と水平方向の亀裂多く、コアは短柱～岩片化。	25[56](100)	CL																				
26	163.95	26.20				B	III	b	β			18[42](100)	CM																					
	163.95	26.50				C	III～IV		γ		GL-26.1～27.3m付近は、水平方向の亀裂多くなり、短柱化している。		CL																				
27						B	II～III		β		GL-27.3～29.0m付近、柱状コアであるが、潜在亀裂あり。	38[83](100)	CM～CH																				
28												48[71](100)																						
29	163.95	29.00																																	
	163.95	29.50				C	IV	c	γ		GL-29.0～29.5m付近は、縦方向と水平方向の亀裂が多くなり岩片化。一部褐色の狭在物を挟む。	18[33](100)	CL																				
30	163.95	30.50				B	III	b			GL-29.5～30.5m付近は、柱状コアであるが、潜在亀裂あり。	20[58](100)	CM																				
31	163.95	31.00				C	IV	c			GL-30.5～31.5m付近は、縦方向と水平方向の亀裂が多くなり岩片化。	30[61](100)	CL																				
32						B	III	b	β		GL-32.2～32.6m付近は、岩片化している。	20[55](100)	CM																				
33	163.95	33.10		流紋岩質溶結凝灰岩	暗青灰						GL-33.1～36.7m付近は、縦方向と水平方向の亀裂多く、コアは短柱～岩片化。褐色の狭在物あり。	17[61](100)																						
34						C	III～IV	c	γ			10[10](100)	CL																					
35												13[24](100)																						
36										1		15[15](100)																						
	163.95	36.70																																	
37						B	III	b	β		GL-36.7～38.3m付近はコアは若干硬質。短柱状である。潜在亀裂あり。	20[57](100)	CM																				
38												21[33](100)																						
39											GL-38.3～41.3m付近、水平方向の亀裂が多くなる。縦方向の亀裂のある区間では、コアは岩片状になる。	12[23](100)																						
40	163.95	40.30																																	
	163.95	40.60				C	III～IV	c	γ			11[21](100)	CL																					
41						B	III	b	β			21[52](100)	CM																					
42	163.95	42.00									GL-41.3～42.0m付近は、亀裂が少なくなり、コア柱状。やや硬質。	0[0](100)																					
43						C	III～IV	c	γ		GL-42.0～43.7m付近、亀裂多くなり、短柱状～岩片化。やや軟質。下位の花崗斑岩との境は不明瞭。		CL																				
	163.95	43.70										12[12](100)																						
44	163.95	43.90		花崗斑岩		D	IV	d	δ		GL-43.7～43.9m付近、礫状化している。軟質である。		DH																					
	163.95	44.50				C	III	c	γ		GL-43.9～45.2m付近、コアはやや軟質。亀裂部が礫状化している。	25[60](100)	CL																				
45									β		GL-45.2～46.2m付近。やや硬質。	23[82](100)	CM																				
46	163.95	46.40									GL-46.2～47.0m付近はやや軟質。亀裂部は礫状あり。	17[48](100)																					
	163.95	46.90							γ				CL																					
47						B	II～III	b	β		GL-47.0～やや硬質。所々。亀裂あり。	27[97](100)	CM～CH																				
48											GL-47.7m付近まで柱状コア部では潜在亀裂あり。	32[92](100)																					
49	163.95	49.00																																	
50																																			
51																																			
52																																			
53																																			
54																																			

7/15	99																	
	61																	
	81																	
	140																	
7/16	71		400.0～600.0	200	0.0	清水/15	15											
	103																	
	55																	
	84																	
	99																	
7/19																		
	81		200.0～250.0	180														
	77	HW/DI																
7/20	60		200.0～250.0	240														
	89		250.0	240～200														
	66		250.0	180	0.5	清水/10	10											
7/21	62																	
	121																	
	131		200.0	180														
	127																	
7/22	126																	